

第1回 コミュニティタクシー「ぶるべー号」に乗って
でかけよう！「大沼稲荷神社へ初詣編」

2010年1月5日

「けやき園前」より乗車。
150円を運賃箱に入れ、目的地を運転手さんに告げて席に着きます。
(お得な回数券も販売中)



足が痛いから、ぶるべー号があると本当に助かります。二駅乗るだけでも全然違うのよ。私は毎日利用しています。(70代女性)

ぶるべー号に乗ってみて

皆さんはコミュニティタクシーのぶるべー号を利用したことがありますか？特にお年寄りや足の不自由な方にはとても親しまれ、喜ばれています。昭和病院を利用する市外の方にも小平駅から病院をつないでくれるので便利だそうです。このぶるべー号は平成21年9月から運行が始まりました。現在、乗客は若干減少傾向のようです。

皆さんも是非乗ってみてはいかがでしょうか。

乗車ルートなど、詳しくは小平市にお問い合わせください



客席は助手席も含めて9席。中はとってもアットホームな雰囲気、運転手さんとも会話が弾みます。雨の日は傘の貸し出しもしてくれます！

「稲荷神社東」下車。大沼稲荷神社へ初詣。「一年の健康と、景気回復」を祈願！今年もたくさんの良い出会いがありますように…。



石毛航太郎 友の会

住所 〒187-0002

東京都小平市花小金井5-29-3 ベルメゾン大塚104

TEL/ 042-452-9091 FAX/ 042-452-9092

E-mail rita800@w8.dion.ne.jp

- 昭和56年西東京市生まれ。
- 東亜学園高等学校卒業。 ●明治学院大学国際学部卒業。
- インド、マザーテレサの福祉施設にて奉仕活動を行う。
- 米国留学、キリスト教の平和活動に参加。
- 曹洞宗の僧侶となり、福井県の大本山永平寺にて修行。
- 現在、小平市議会議員一期目。 厚生委員会委員。
- 小平青年会議所所属
- 趣味 登山、ランニング、旅行、座禅

ご協力をお願い致します

- お知り合いを紹介していただける方 ●レポートをご近所に配っていただける方
 - ポスターの掲示にご協力いただける方 ●その他お手伝いしていただける方
- ～友の会までご連絡下さい～

◆編集後記◆

2010年2月28日(日)に、第3回東京マラソン42,195kmに初挑戦！！
大学時代は毎年1回、約55km走っていたが、大学を卒業して5年。若干の体力の衰えも感じています。
自分の足で着実に一歩ずつ…。マラソンも仕事も目標に向かって進んでいきます。

2010年も頑張ります！



石毛航太郎

通称号 定価 1部 100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)

The Democratic Party of Japan

平成9年4月25日 第3種郵便物認可



号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本
生活が第一



28歳

市議会レポート
vol.4

石毛航太郎

いしげ こうたろう

—小平市議会議員—

金融危機の後始末に追われた2009年が終わり、迎えた新しい年。今年、多くの国民が、危機から完全に抜け出し、再び活力を取り戻すことができるようにしたいという願いをもって2010年が始まりました。昨年は市長選挙、都議会議員選挙、衆議院選挙と続き、特に衆議院選挙では政権交代がなされました。変革の時代だからこそ、政治のわかりやすい説明が必要だと考えます。政治が分かりにくいもの、専門知識を有している一部の人が担うものではなくて、市民の最も身近なものであるという当たり前のことを第一に、わかりやすい市政運営と政策の丁寧な説明を心がけ、積極的に皆様に発信していきます。そのうえで皆様の意見を素早くキャッチし、少しでも市政に反映させた形で投げ返せるよう頑張ります。

政権交代したことでなお一層身を引き締め、市政に取り組んでいくことをお約束致します。

にちちこれこうじつ
日日是好日、出会いに感謝し、今年一年も頑張ります。

2009年 活動写真



年越し派遣村視察
雇用対策が喫緊の課題



新年歩け歩け大会
毎年参加しています



多摩しょうがい者スポーツセンター
アイマスクをしてサッカー



花小金井神輿
夏の楽しみの一つ



共用品推進機構の視察。しょうがい者の為の工夫がたくさん



しょうがい者センター
車イスバス体験



市内各駅で市議会報告
積極的に発信していきます



福祉会館の点字サークル
点字の大切さを再認識



福祉バザー、収益は福祉のまちづくりに使われます



サンタクロース?! 保育園の子ども達、笑顔が輝いていました

市議会活動報告

《2009年6月 定例会 一般質問より》

キャリア教育推進事業を さらにアピールできないか

石毛航太郎 質問要旨

キャリア教育推進事業の課題は何か。また、市報の「職場体験特集号」をつくるなど、市民にさらにアピールし、より地域に根付いた事業にすることはできないか。

教育長 答弁

キャリア教育推進事業の課題は、生徒の受け入れ事業所の確保と負担の軽減。

市民には、その趣旨を、市報及び教育委員会ホームページに掲載するとともに、受け入れ事業所には、**※①ステッカー**を貼るなどにより、周知をはかっている。

市民へのPRについては、今後の課題として受け止めさせていただく。

※職場体験協力事業所
ステッカー

中学生職場体験
協力事業所
小平市教育委員会

Q: キャリア教育推進事業とは…?

A: 小平市の中学2年生を対象に市内外の事業所及び公共施設等にて、総合学習の一環として5日間、職場体験等を行い、「将来の社会人」である中学生に望ましい社会性を身に付けさせることを目的とした事業

Q: どんな所が職場体験を受け入れているの?

A: 平成20年度は、保育所、農園、飲食店、ガソリンスタンド、消防署、しょうがい者福祉センター、コンビニエンスストア、お花屋さんなど、延べ458カ所の事業が受け入れています。

地域に根付く事業にするには、まずは多くの人にキャリア教育推進事業を知ってもらうことが必要だと思います。受け入れ事業所も増え、生徒が体験できる職業の幅が広がり、地域の活性化にもつながるのではないのでしょうか。

もし、ステッカーの貼ってある事業所や商店をみかけたら、職場体験協力事業所です。

将来、小平市を支えることもたちを、地域で育てていきたいですね。

皆様のご協力をお願い致します。

★皆さんの近所でも、ステッカーを貼っている所はありませんか？



=お願い=

教育委員会、市内中学校の先生方、学校支援コーディネーターの方々を中心に、中学生職場体験を受け入れて下さる事業所を探しています。

ご協力いただける方がいましたら、よろしく願い致します。

《2009年9月 定例会 一般質問より》

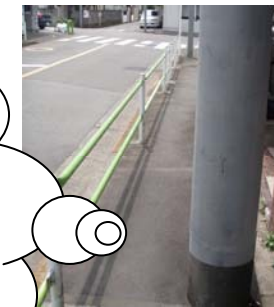
福祉のまちづくりについて

石毛航太郎 質問要旨

電柱や標識により歩道が狭く、車いすが通過できない場所もある。今後、高齢化社会が進み、しょうがい者だけではなく、高齢者にとっても歩きやすい道路が必要となってくるが、市はどのように考えているか。

- 車いす1台が通行するのに約75センチの幅が必要だが、電柱などがあるため60センチ程の狭い歩道がある。
- **※②UDブロック**の色がはげてしまって見えづらくなっている。

大沼町近辺の歩道。
ガードレールと電柱との間は約58cmとかなり狭く、自転車一台通るのがやっと…!



都市建設部長 答弁

公共施設に接した狭い歩道で、電柱が通行の支障となる場合には、電柱を公共施設内へ移設することや、ガードレールを部分的に切断して通りやすくする等、今後とも道路管理者として、支障電柱の移設に取り組んでいきたいと考えている。

また、UDブロックについては、もともと色の無い製品だったが、都内で初めて小平市が使ったといういきさつから、市民に周知するために色を付けるという工夫をした。しかし、このペイントは1~2年たつと色が落ちてきてしまう。全てのUDブロックの色の塗り替えは難しいが、しょうがい者の福祉施設や駅の周りなどは重点的に色の塗り替えを行っていきたいと考えている。

Q: **※②UDブロック**って何?

A: 歩道と車道の段差を部分的になくすことにより、車いすを利用する人がスムーズに通行することができるブロックのこと。



塗り替え作業前



塗り替え作業後

★ しょうがい者の福祉施設の周辺や駅前を中心に、市でUDブロックの塗り替え作業を行って来ています。色がつくと見やすいですね!!

Q: 通行に支障のある電柱を
地中に埋めることはできないの?

A: 地中にはガス管や上・下水道管などがあり地面を掘り返すには、上下水道の管理計画と連動する必要がある。また、電線類を地中に埋めるためにはスペースが必要なため、狭い道には難しい。もちろんコストもかかる!!

★ 小平市は、誰もが自立して暮らしていけるまちづくりを目指しています。しょうがいのある方や、高齢者の生活がもっと豊かになるように、通行に不便を感じているところなどへのアンケートや意識調査などをして、さらに暮らしやすいまちづくりを進めていきたいですね。

※12月定例会、一般質問につきましては、次号にてお伝え致します。

- 今後の学童クラブのあり方について
- 再び小・中学校の備品・消耗品の管理について